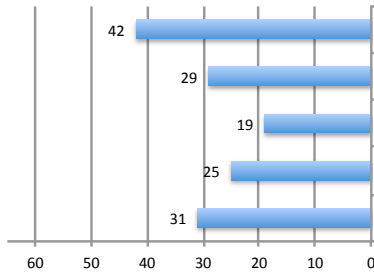
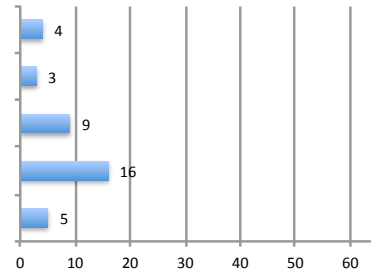


### 相手を知り自分を知る技術

良かったと思った演習

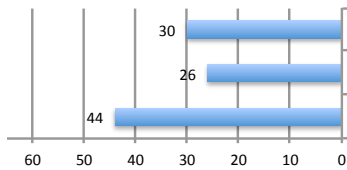


なくても良いと思った演習

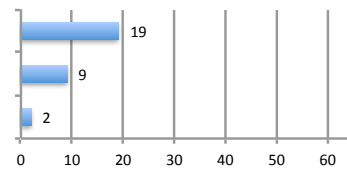


### コミュニケーション基礎技術

良かったと思った演習

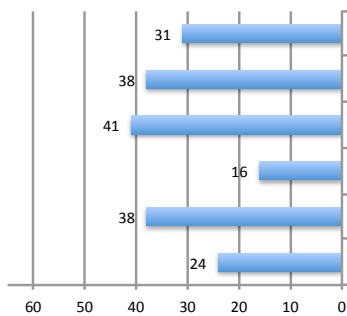


なくても良いと思った演習

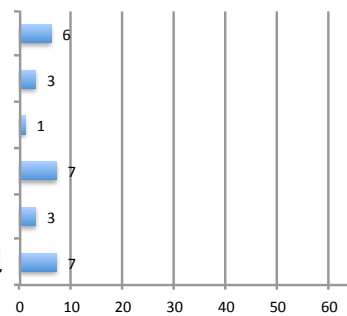


### 交渉とディベート

良かったと思った演習

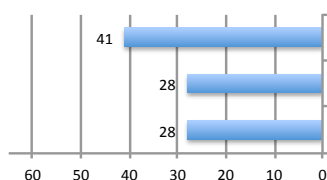


なくても良いと思った演習

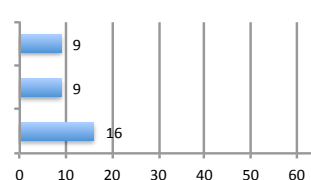


### クラス運営

良かったと思った演習



なくても良いと思った演習



**<基本スキル全般に関して>**

この講義では基本的なスキルとして交渉の技術や英語表現以外に、人の話を聞く、視点を変える質問を考える技術、相手や自分のタイプなどから自他を理解するなどを練習したが、全般的に自分のコミュニケーション力が改善したと思うか?

そう思う	少しそう思う	どちらとも言えない	あまりそうは思わない	そうは思わない
12	39	10	3	0

**<基本スキルの向上に関して>**

これらの基本スキルは、コーチングという技術の中の重要な基本技術であるが、今後勉強会などを企画したら参加したいか? (この勉強会は、要望に応じて土曜ゼミの形で、毎年冬休み前後に1~3回実施しており、卒業生や企業の方も参加しており好評/もちろん無料)

可能であれば参加したいので、 時期が来たら連絡してほしい	あまり興味がない	無回答
40	22	2

**<講義日程に関して>**

今回のような集中講義型が良い	毎週2コマが良い	毎週1コマが良い(全15回)講義
30	25	9

**<講義時間帯に関して>**

今回のような時間帯が良い (昼と夜と混合)	昼の時間帯が良い	夜の時間帯(6~9時)が良い
20	24	20

**<特に良かったと思った項目とその理由>****コミュニケーションに関して**

- ・CSPAのタイプ分け、会話のきっかけにもなる。
- ・コーチングの4つのタイプ分けを知っておくことにより、相手の性格や性質を判断しやすくなりました。

- ・自分のタイプを知れたのは、今後も役立つと思うので、タイプ分けは良いと思いました。
- ・他者の良い点を指摘する付箋：自分では気づかない長所がわかるので
- ・自己分析と相手の良い点を指摘する付箋は、他のコミュニケーション場所で自分をどのように表現したらいいか、発現のタイミング、アピール力ですごく役立ちました。
- ・99%無駄話：気楽に行うことができ、緊張がほぐれた。
- ・モチベーションカーブでおおまかに相手の体験を聞いたのが面白かった。
- ・他者の良い点はやることは面白いのでよかったと思うが、もう少し他人を知ってからやった方がいい意見が出ると思う。
- ・コミュニケーション能力の向上に良かったと思います。

#### 異分野連携に関して

- ・いろんな人と知り合い、意見を交換したりしたので、少し成長したと感じた。
- ・様々な分野の人と意見交換できたこと。
- ・他の分野の人たちと交流できたこと。研究室に同期がいなく、他の授業（完全講義系）だとなかなか他の人との交流がなかったから。
- ・分野別のグループ：普段接点がない人々と話すことができ、刺激的だった。
- ・分野を越えて友達を作ることができた。

#### ディベートに関して

- ・ディベートを実際に行ったこと。
- ・ディベート：具体例を混ぜることや相手の意見にしっかり反論するのが、興味深く楽しかった。
- ・ディベートが初めての人でも、分かりやすいように、テーマが与えられていたと思います。（交渉とディベート）
- ・英語ばかりだと思ったが、自分を知れるチャンスになれてよかったと思う。

・ディベートのスキルはもちろん、その他に自己と向きあう時間や、他者に耳を傾ける時間があつたのがとてもよかった。研究室に入ると他者と話せないの。

### その他

・ジョハリの窓はやってない気がします・・・（やっていたらごめんなさい）

・画をえがいて説明すること。

・交渉。

### <特になくてもよいと思った項目とその理由>

・実際には、なくてもいい、ではなくて、やるのであればもう少し時間が欲しかったです。

・授業の内容が多く、実際に授業で行った内容を使用することが出来なかった。目的をしぼった方が良い。

・他者の良い点：お世辞チックだった。もっとお互いのことを知ったうえでやっていたならば、よい点なのだと思えたのかもしれない。

・ディベートをしぼって、少ないテーマをゆっくりディベートするのも良いかもしれない。

・モチベーションカーブは、皆でやらなくても良いのかもしれないと思いました。

・モチベーションカーブよりも、99%無駄話の方が相手のことをよく理解できるかと・・・

・Tongue Twisters：特に発音や声によりよくなった訳ではなかった。

・毎週も評価（アンケート）用紙：後半になると見返さなくなる。

・記憶にうすいため。

・英語の発音練習：オススメのアプリ紹介はありがたいが、あまりにも毎回なので迷う。2つくらいにしてほしい。

・分野を分散させたチーム構成、役立っている感じがあまりなかったように感じました。

・チームに苦勞することは多かった。

<その他、要望や感想などあれば記載>

- ・めずらしい授業で、楽しかったです。
- ・面白く、自分のためになる講義だと思います。英語を实践するいい機会だと思った。
- ・楽しかったです！
- ・楽しかった。他の分野の人とコミュニケーションをとれる良い機会となった。
- ・おもしろかった。
- ・思っていた以上に面白かったです！受けて良かった。
- ・先生、いろんな事を教えてくれてありがとうございました。おつかれさまでした。
- ・どの演習も今までの講義や授業ではやってこなかったもので、面白かった。今後社会に出ると、人とのコミュニケーションはより重要になってくると思う。心理学的な観点からの、コミュニケーションの方法などがあると面白いと思う。（ゆうき ゆう先生の心理学本がおすすめ）
- ・入学してからこの講義を取ることによって顔見知りが増え、かつ分野の違う人、他大学院の方々と知り合えるので、良い交流の機会になりました。
- ・グループワークが新鮮で、とても楽しかったです。大学院生であるからこそ、こういった授業の必要性を感じました。ぜひ、来年以降も続けていただけたらと思います。
- ・他人がどのような視点で物事を考えているかを改めて考える良い機会になりました。英語のスキルも上がり、非常に刺激的で有意義な時間だった。異分野の人たちとディスカッションする事で、異なる視点や新しい意見の発見があった。
- ・ディベートの授業で友達作りをして、友達作りの起点になったので、E.Dでなくても、Discussionする授業かつ班分けの授業は大切だと思った。
- ・英語だけではなく、コミュニケーションを考え改善するきっかけになったので、受けて良かったです。
- ・ディベートや英語の練習もさることながら、顔見知りのできたので良かったです。
- ・全体的にディベート力、コミュニケーションスキルが上がったような気がしたので良かった。授業を初めて受けた日と今日で約2ヶ月しか経ってないが、人前で話すことに対する意識や相手とのコミュニケーション力が上がったように感じます。

- ・交渉の演習は車の相場など、背景設定があった方がよかった。
- ・英会話を増す。
- ・課題の内容がよく分からないことが多々あったので、分かりやすくしてほしい。（回答例を出すなど）
- ・英語・ディベートだから仕方ないが、やはり個人的には英語でディベートするということのハードルが高かった。日本語でディベートする回数を増やすか、英語を勉強する回数を増やしてほしいと思った。
- ・周りの音や声で、自分たちや相手の声がききとれないことが多かった。机やイスの配置をもう少し工夫できたら良かったと思う。声の大きい人がいる班が有利なイメージがある。
- ・班分けがざつ！固定しなくてもいい（2回ずつ）。
- ・分野性別など、分散させた班になるのはよいが、女の子1人はさすがにかわいそうだと思います。
- ・履修登録の変更で、履修した人がメーリスから外れていました。
- ・他の講義や講習とかぶる時間に設けるのをやめてほしいです。
- ・もっといるんな班で、ディベートを実践してみたかったです。
- ・毎週2回ずつだと、授業が受けやすいと思いました。
- ・土曜日はやめてほしい。
- ・土曜はやめてほしい。
- ・朝から来ているので、朝やってくれればいいな、と思ったことがあった。
- ・授業と授業の間が空いてしまうと、相手とのコミュニケーションを戻すのに時間がかかったり、話し合いの内容を忘れてしまうので、同間隔がいいなと思いました。
- ・可能であれば昼間に授業をしてほしい。（19時くらいまでに終わってほしい）グループが決定するまでは、毎回自己紹介の時間を取ってほしい。グループが決定した回の自己紹介は長めに取ってほしい。名前が覚えられない。今回は班員がニックネームをつけてくれたので話しやすかった。Topicに加えてもよいと思う。
- ・（勉強会参加に関して）ラボが忙しいので無理かもです・・・
- ・（勉強会参加に関して）留学に行くので多分無理ですが、興味があります。

本アンケートに関する連絡先  
東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科  
博士課程 生命理工学系専攻 疾患予防科学コース  
担当教員 竹本佳弘  
<http://gks.tmd.ac.jp/dpsc/>